



平成 29 年 5 月 11 日

各 位

| | |
|--------|---------------|
| 会 社 名 | スガイ化学工業株式会社 |
| 代表者名 | 代表取締役社長 武田 晴夫 |
| (コード番号 | 4120 東証第 2 部) |
| 問合せ先 | 総務部長 田中 淳二 |
| (TEL. | 073-422-1171) |

新中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、海外向け農薬中間物がユーザーによる大幅な在庫調整の影響を受け、売り上げ減少や工場稼働率の低下などで 2 期連続の営業損失となるなど厳しい経営環境が続いておりました。このため、コストダウン及び経費節減を行うとともに、大型製品への依存度を下げ、新製品を中心とした品目転換に努めてまいりました。

一方、収益構造の改善及び安定した経営基盤の構築に向け、多品種の製品を取り扱うべくマルチプラント化を中心とした生産・販売体制の抜本的な見直しを行いました。この見直しとともに、この間に最重要視して取り組んだ海外向け大型製品に代わる製品への転換も、ほぼ目途が立ってきました。

こうした中で、2 期連続の営業損失からの脱却を図り、収益構造の改善を一層進め、安定した経営基盤を構築し、早期復配を果たすため、平成 29 年度を初年度とする新中期経営計画（平成 30 年 3 月期～平成 32 年 3 月期）を策定いたしましたので、その概要についてお知らせいたします。

記

1. 新中期経営計画の概要

- (1) 新中期経営計画においては、『顧客からより信頼される企業基盤の確立』をスローガンとし、2 期連続の営業損失から脱却し、利益を安定的に稼げる企業体質に転換することにより、経営を安定軌道に乗せ、早期に復配できるように努めてまいります。
- (2) 長年培ってきた有機合成技術とノウハウを最大限に活用し、顧客と協働しながらコストダウンしていく当社の強みをいかに発揮できる農薬分野の強化・拡充を図ってまいります。
- (3) 将来性のある新製品の開発に注力し、開発の効率化を図るとともに、独自製品の販売・開発を強化してまいります。
- (4) コスト意識をさらに向上させ、原価率の改善と採算是正に取り組んでまいります。また、早期受注や新製品導入を進めることにより、稼働の平準化を図り、生産性の改善を一層推進してまいります。原材料ソースにつきましても、安定確保を目的に多元化を図り、工場の安定稼働に努めてまいります。

(5) 顧客をはじめステークホルダーの信頼を得るために、コーポレートガバナンス及びコンプライアンスの強化・徹底を図ってまいります。また、環境・健康・安全(EHS)の取り組みを重視し、循環型社会への貢献と安全な工場運営に取り組んでまいります。

(6) 安定した企業基盤の構築の一環として、たな卸資産の圧縮など財務体質を強化してまいります。

2. 達成目標

最終年度となる平成32年3月期の目標値は、次のとおりです。

(1) 売上高 60億円以上（平成28年度比120%以上）

(2) 営業利益 3億円以上（売上高営業利益率5.0%以上）

以 上